

## ムシクサ (虫草)

名前の意味：実<sup>い</sup>に虫<sup>み</sup>こぶ<sup>み</sup>ができるから。

分類：双子葉類、ゴマノハグサ科、クワガタソウ属

(ゴマノハグサ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：キンギョソウ)

好きな場所：湿った空き地、田んぼ

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴：つやのある対生<sup>たいせい</sup>する葉、小さな淡い空色<sup>あわ</sup>

の花、ハート形の実

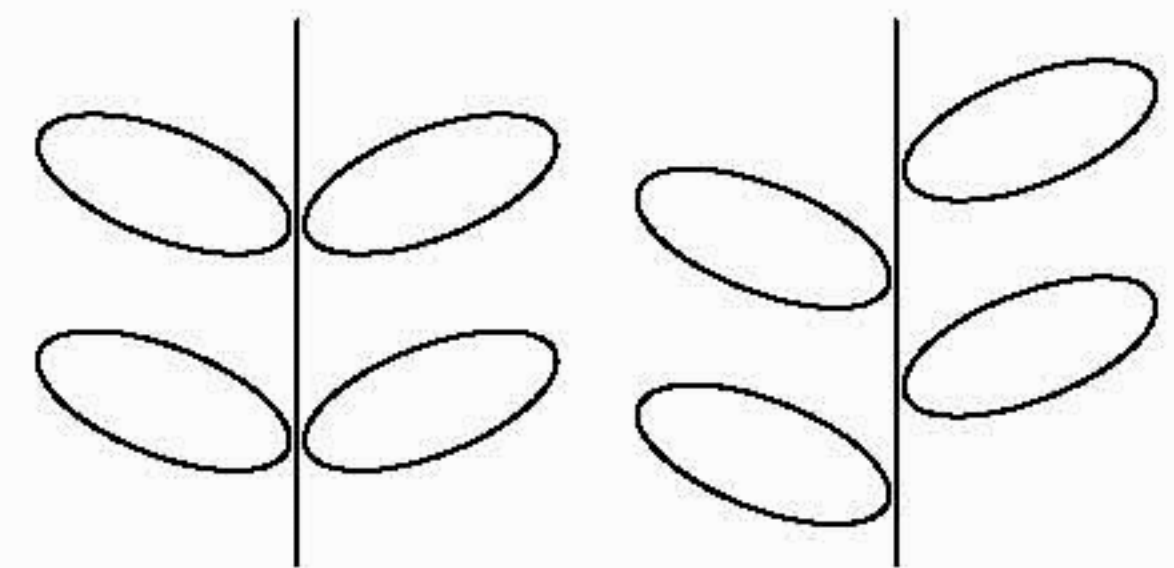
種子の運ばれかた：そのまま落ちる。

花弁の数：合弁<sup>ごうべん</sup>、4裂<sup>れつ</sup>

花の時期：4－5月

食べ方：食べられない

見分け方：カワヂシャは、全体が大きく、花も空色で大きい。



たいせい  
対生

ごせい  
互生

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度<sup>そうごうなんいど</sup> ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)